

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人東京医科大学
理事長 田中 慶

東京医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	93.7 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	648人	180人	667.1人	看 護 補 助 者	100人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	24人	10人	25.5人	理 学 療 法 士	9人	臨 床 検 査 技 師	105人
薬 剤 師	62人	0人	62.0人	作 業 療 法 士	3人	衛 生 検 査 技 師	1人
保 健 師	5人	0人	5.0人	視 能 訓 練 士	9人	鑑 査 技 師	2人
助 産 師	37人	0人	37.0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	1人
看 護 師	934人	11人	940.5人	臨 床 工 学 技 士	17人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	8人
准 看 護 師	4人	0人	4.0人	栄 養 士	3人	そ の 他 の 技 術 員	8人
歯 科 衛 生 士	1人	0人	1.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	343人
管理栄養士	10人	4人	10.7人	診 療 放 射 線 技 師	66人	そ の 他 の 職 員	23人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	747人	8人	755人
1日当たり平均外来患者数	2,629人	93人	2,722人
1日当たり平均調剤数	793.5 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	127人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	68人	・広範脊柱管狭窄症	12人
・重症筋無力症	88人	・原発性胆汁性肝硬変	60人
・全身性エリテマトーデス	327人	・重症急性膵炎	4人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	24人
・再生不良性貧血	70人	・混合性結合組織病	31人
・サルコイドーシス	106人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	8人	・特発性間質性肺炎	6人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	140人	・網膜色素変性症	54人
・特発性血小板減少性紫斑病	133人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	29人	・肺動脈性肺高血圧症	7人
・潰瘍性大腸炎	223人	・神経線維腫症	4人
・大動脈炎症候群	22人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	60人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	24人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	54人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	62人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	141人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5人
・後縦靭帯骨化症	86人	・肥大型心筋症	13人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	34人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	41人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	55人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	11人	・黄色靭帯骨化症	8人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	53人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
悪性胸膜中皮腫に対する次世代型発光ダイオード診断治療装置の開発	白田 実男	外科学1	1,200	補委 文部科学省
癌に対する低侵襲局所療法と樹状細胞癌ワクチン療法との融合による相乗効果	佐治 久	外科学1	900	補委 文部科学省
呼吸器外科手術における赤外観察カメラシステムを用いた至適切除範囲の研究	一ノ瀬 修二	外科学1	900	補委 文部科学省
非小細胞肺癌におけるSISH法を用いた遺伝子増幅解析とEGFR-TKI耐性の検討	吉田 浩一	外科学1	1,800	補委 文部科学省
進行肺癌に対する次世代型インターベンション治療の開発	大谷 圭志	外科学1	1,900	補委 文部科学省
非変性/変性対角線電気泳動による天然変性蛋白質の分離同定と翻訳語修飾解析	川上 隆雄	外科学1	3,400	補委 文部科学省
チオール基の酸化還元を指標にした診断バイオマーカー蛋白質の同定と検証	川上 隆雄	外科学1	1,700	補委 文部科学省
分子標的治療薬の早期効果予測を目的とした超音波分子標的イメージング法の開発	杉本 勝俊	内科学4	970	補委 文部科学省
眼内悪性腫瘍における新規免疫療法の開発	後藤 浩	眼科学	700	補委 文部科学省
難治性視神経脊髄炎に対する神経ペプチド遺伝子組み込み免疫制御細胞の開発	毛塚 剛司	眼科学	1,000	補委 文部科学省
難治性ぶどう膜網膜炎における免疫補助シグナル分子の制御機構解明と新規治療法の開発	白井 嘉彦	眼科学	1,500	補委 文部科学省
創傷治癒過程におけるToll様受容体シグナルの役割	坪井 良治	皮膚科学	1,000	補委 文部科学省
股関節シュミレーターを使用した各種超高分子ポリエチレンの摩耗特性の検討	山本 謙吾	整形外科学	2,200	補委 文部科学省
ヒト変形性関節症における軟骨破壊の分子機構の解明	澤地 恭昇	整形外科学	1,400	補委 文部科学省
肥厚性癍痕病態解明と治療薬開発のための基礎動物研究	松村 一	形成外科学	1,100	補委 文部科学省
婦人科癌における新規パクリタキセル感受性遺伝子によるテーラーメイド医療の確立	井坂 恵一	産科婦人科学	1,400	補委 文部科学省
めまいの新概念, 半規管クプラの形態異常に関する基礎的研究	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	2,200	補委 文部科学省
頭頸部領域の前癌病変と扁平上皮癌における癌化および進展のメカニズムの解明	北村 剛一	耳鼻咽喉科学	500	補委 文部科学省
高齢化社会を豊かにするIT活用医療支援システムの構築:ICタグによる尿失禁検知	秦野 直	泌尿器科学	2,800	補委 文部科学省
NF κ B-IL6系を標的とした難治性前立腺癌の進展と癌随伴症に対する新規治療戦略	中島 淳	泌尿器科学	1,900	補委 文部科学省
顎骨再生に向けたPTHとCOX-2の骨形成相互解明	近津 大地	口腔外科学	1,000	補委 文部科学省
領域別診療フレーム解析を用いた救急医療における医療安全と質保証に関する研究	織田 順	救急医学	1,400	補委 文部科学省
診療フレーム解析による救急医療の標準化阻害因子とその解決策に関する研究	織田 順	救急医学	900	補委 文部科学省
アストロサイト由来Int6-HIF2 α を標的とした新規脳蘇生法確立の試み	内野 博之	麻酔科学	900	補委 文部科学省
新規脳保護法を導く脳内トランスポーターコントロールの解明	室園 美智博	麻酔科学	1,100	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
吸入麻酔ターゲット因子の新規定量解析による麻酔作用機序の考究	関根 秀介	麻酔科学	900	③補委 文部科学省
臨床の思考過程を組み込んだ効果的な身体診察学習の普及と検証に関する国際共同研究	大滝 純司	医学教育学	3,400	③補委 文部科学省
医学生・研修医の進路決定プロセスと医師の職業選択の要因に関する探索的研究	大滝 純司	医学教育学	1,000	③補委 文部科学省
非小細胞肺癌におけるEGFRを標的としたナノ粒子によるオートファジー誘導療法	横山 智央	臨床腫瘍科	1,300	③補委 文部科学省
国内未承認エイズ治療薬等を用いたHIV感染症治療薬及びHIV感染症至適治療法の開発に係る応用研究	福武 勝幸	臨床検査医学	115,000	③補委 厚生労働省
門脈血行異常症に関する調査研究	森安 史典	内科学4	20,000	③補委 厚生労働省
肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	森安 史典	内科学4	2,800	③補委 厚生労働省
国内外の精神科医療における疾病分類に関する研究	飯森 眞喜雄	精神医学	4,000	③補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[PDT半導体レーザー・タラポルフインナトリウム]	秋元 治朗	脳神経外科学	1,800	③補委 厚生労働省
粒子線治療の有効性、適応、費用対効果に関する総合的研究	池田 徳彦	外科学1	1,200	③補委 厚生労働省
抹消小型非小細胞肺癌に対する縮小手術の有用性を検証する研究	佐治 久	外科学1	1,500	③補委 厚生労働省
がん化パルスウェイネットワークが規定するがんの分子標的の解析並びに予後予測法の確立	野村 将春	外科学1	2,000	③補委 厚生労働省
難治性血管炎に関する調査研究	重松 宏	外科学2	1,900	③補委 厚生労働省
後天性血友病XIII(13)の実態調査、発症機序の解明と治療方法の開発	重松 宏	外科学2	500	③補委 厚生労働省
原発性リンパ浮腫全国調査を基礎とした治療指針の作成研究	重松 宏	外科学2	1,000	③補委 厚生労働省
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発	土田 明彦	外科学3	3,000	③補委 厚生労働省
肺胞蛋白症の難治化要因の解明と診断、治療、管理の標準化と指針の確立	瀬戸口 靖弘	内科学1	700	③補委 厚生労働省
難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	伊藤 良和	内科学1	500	③補委 厚生労働省
ベーチェット病に関する調査研究	後藤 浩	眼科学	2,000	③補委 厚生労働省
前庭機能異常に関する調査研究	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	1,700	③補委 厚生労働省
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	600	③補委 厚生労働省
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発	西 洋孝	産科・婦人科学	2,000	③補委 厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	河島 尚志	小児科学	400	③補委 厚生労働省
インフルエンザ脳症など重症インフルエンザの発症機序の解明とそれに基づく治療法、予防法の確立に関する研究	河島 尚志	小児科学	1,500	③補委 厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	宮島 祐	小児科学	400	③補委 厚生労働省

小計
25件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	山本 謙吾	整形外科	1,000	補 委	厚生労働省
生活習慣病予防活動・疾病管理による健康指標に及ぼす効果と医療費適正化効果に関する研究	織田 順	救急医学	600	補 委	厚生労働省
血友病とその治療に伴う合併症の克服に関する研究	稲葉 浩	臨床検査医学	1,500	補 委	厚生労働省
「メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現」(閉塞性動脈硬化症における個別化医療の実現)	重松 宏	外科学2	5,191	補 委	文部科学省
多視点化による「共有する医療」の実現に向けた研究	行岡 哲男	救急医学	5,372	補 委	科学技術振興機構
弾性繊維形成タンパク質を標的とした疾患診断、治療薬の開発	富山 博史	内科学2	1,154	補 委	科学技術振興機構

小計
6件

合計 56件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

論文発表等の実績

2. 論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
1	International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology 59, 2843-2847, 2009	Parabacteroides gordonii sp. nov., isolated from human blood cultures	Mitsuo Sakamoto	総合診療科
2	BMC Medical Education 10:35, 2010	Undergraduate educational environment, perceived preparedness for postgraduate clinical training, and pass rate on the National Medical Licensure Examination in Japan	Tokuda Y*	総合診療科
3	International Journal of Medical Education 1:10-14, 2010	Educational environment of university and non-university hospitals in Japan	Tokuda Y*	総合診療科
4	Leukemia Research 34: 403-405, 2010	Speciation of arsenic trioxide penetrates into cerebrospinal fluid in patients with acute promyelocytic leukemia.	Kiguchi T ,	血液内科
5	Annals of Hematology 89: 733-735, 2010	Idiopathic neutropenia with fewer than 5% dysplasia may be a distinct entity of idiopathic cytopenia of undetermined significance.	Ando K ,	血液内科
6	Leukemia Research 34: 1151-1157, 2010	Multicenter phase II trial of vitamin K2 monotherapy and vitamin K2 plus 1?-hydroxyvitamin D3 combination therapy for low-risk myelodysplastic syndromes.	Akiyama N* ,	血液内科
7	International Journal of Hematology 92: 708-712, 2010	Estimation of cardiac left ventricular ejection fraction in transfusional cardiac iron overload by R2* magnetic resonance.	Sakuta J ,	血液内科
8	British Journal of Haematology 150: 705-707, 2010	PNH-phenotype cells in patients with idiopathic cytopenia of undetermined significance (ICUS) with megakaryocytic hypoplasia and thrombocytopenia.	Ando K ,	血液内科
9	BMC Research Notes 3: 347, 2010	Impact on cell to plasma ratio of miR-92a in patients with acute leukemia: in vivo assessment of cell to plasma ratio of miR-92a.	Ohyashiki JH ,	血液内科
10	Annals of Hematology 89(11) : 1081-1087, 2010	Efficacy of MK-0457 and in combination with vorinostat against Philadelphia chromosome positive acute lymphoblastic leukemia cells.	Okabe S ,	血液内科
11	Experimental Hematology 38: 765-772, 2010	Establishment of a new Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia cell line (SK-9) with T3151 mutation.	Okabe S ,	血液内科
12	Hematology 15: 397-405, 2010	Determination of donor-derived killer immunoglobulin-like receptor (KIR) by sequential genotyping in hematopoietic stem cell?transplanted patients.	Yoshizawa S ,	血液内科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
13	Int J Hematol. 2011 Jan;93 (1) :36-46. Epub 2011 Jan 12.	Safety and efficacy of the terminal complement inhibitor eculizumab in Japanese patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria: the AEGIS clinical trial.	Ohyashiki K	血液内科
14	Leukemia. 2011 Jan;25 (1) :110-20. Epub 2010 Sep 30.	Impact of adjunct cytogenetic abnormalities for prognostic stratification in patients with myelodysplastic syndrome and deletion 5q.	Ohyashiki K	血液内科
15	PLoS One. 2011 Feb 24;6 (2) :e16408.	Clinical impact of down-regulated plasma miR-92a levels in non-Hodgkin's lymphoma.	Ohyashiki K	血液内科
16	J Infect Chemother. 2011 Feb;17 (1) :58-67. Epub 2010 Jul 3. Erratum in: J Infect Chemother. 2011 Feb;17 (1) :68-9	Clinical efficacy and safety of biapenem for febrile neutropenia in patients with underlying hematopoietic diseases: a multi-institutional study.	Ohyashiki K	血液内科
17	Eur J Haematol. 2011 Feb;86 (2) :117-23. doi:10.1111/1600-0609.2010.01552.x. Epub 2010 Dec 29.	Cladribine combined with rituxmab (R-2-CdA) therapy is an effective salvage therapy in relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma	Ohyashiki K	血液内科
18	J Am Coll Cardiol 55 (18) : 1979-1987, 2010	Continuous smoking and progression of arterial stiffening: a prospective study	Tomiyama H.	循環器内科
19	J Hypertens 28 (4) : 687-694, 2010	Synergistic relationship between changes in the pulse wave velocity and changes in the heart rate in middle-aged Japanese adults: a prospective study	Tomiyama H.	循環器内科
20	Nuclear Medicine Communications 31 (9) : 800-806, 2010	Sex-specific approach to gated SPECT volumetric analysis after stress and at rest to detect high-risk coronary artery disease	Hida S.	循環器内科
21	Respir Med. 2010 Jun; 104 (6) :911-6. Epub 2010 feb 6.	Effects of CPAP therapy on the sympathovagal balance and arterial stiffness in obstructive sleep apnea	Shiina K.	循環器内科
22	J Cardiol 55 (3) : 337-344, 2010	A flow-limiting stenosis is the major determinant of exercise-induced myocardial stunning in patients with coronary artery disease	Tanaka H.	循環器内科
23	Am J Hypertens 23 (5) : 495-500, 2010	Relationship of insulin resistance to macro- and microvasculature reactivity in hypertension	Yoshida M.	循環器内科
24	Circ J 74 (8) : 1591-1599, 2010	Prognostic value of post-ischemic stunning as assessed by gated myocardial perfusion single-photon emission computed tomography—A subanalysis of the J-ACCESS study—	Usui Y.	循環器内科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
25	Am J Hypertens 23 (9) : 967-973, 2010	Association of serum cystatin C with pulse wave velocity, but not pressure wave reflection, in subjects with normal renal function or mild chronic kidney disease	Odaira M.	循環器内科
26	Hypertens Res 33 (4) : 360-366, 2010	Significance of the second peak of systolic blood pressure for identifying both high and low cardiovascular risk states	Matsumoto C.	循環器内科
27	J Cardiol 55 (3) : 370-376, 2010	Clinical characteristics in patients showing ischemic electrocardiographic changes during adenosine triphosphate loading single-photon emission computed tomography	Ohtaki Y.	循環器内科
28	J Cardiol 56 (1) : 51-58, 2010	Relation between prognosis and myocardial perfusion imaging from the difference of end-point criterion for exercise stress testing: A sub-analysis of the J-ACCESS study	Muramatsu Y*.	循環器内科
29	Inter Med 50:539- 544, 2011	Gastric Mucosal Damage Evaluated by Transnasal Endoscopy and QOL Assessments in Ischemic Heart Disease Patients Receiving Low-dose Aspirin	Kawai Takashi	循環器内科
30	Int J Nephrol. 2011 Mar 6;2011:427471.	Effects of Moderate-to-Severe Impairment of the Estimated Glomerular Filtration Rate and of Proteinuria on the Central Hemodynamics and Arterial Stiffness in Middle-Aged Healthy Japanese Men.	Tomiyama H.	循環器内科
31	Sleep Med. 2011 Mar 4. [Epub ahead of print]	Severe obstructive sleep apnea impairs left ventricular diastolic function in non-obese men.	Usui Y.	循環器内科
32	Ann Nucl Med. 2011 Jan;25 (1) :55-8. Epub 2010 Oct 13.	Severe vasospastic angina with ventricular fibrillation suggested by iodine-123 beta-methyl-p-iodophenyl-pentadecanoic acid in a young woman.	Ohtaki Y	循環器内科
33	Heart Vessels. 2011 Mar 26. [Epub ahead of print]	Obstructive sleep apnea as a potential risk factor for aortic disease.	Saruhara H.	循環器内科
34	Clin Chim Acta 411: 15-16, 2010	A novel enzyme immunoassay for the determination of phosphatidylserine-specific phospholipase A(1) in human serum samples	Nakamura K*	リウマチ膠原病 内科
35	FEBS Lett 584 (22) : 4689-94, 2010	POSH promotes cell survival in Drosophila and in human RASF cells	Tsuda M*	リウマチ膠原病 内科
36	Clin Imaging 34 (3) :211-221, 2010	Real-time contrast-enhanced ultrasound imaging of focal liver lesions in fatty liver	Liu GJ	消化器内科
37	World J Gastroenterol 16 (15) : 1890-1895, 2010	Prognosis of cancer with branch duct type IPMN of the pancreas	Ikeuchi N	消化器内科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
38	World J Gastroenterol 16(14): 1727-1734, 2010	Effectiveness of narrow-band imaging magnification for invasion depth in early colorectal cancer	Fukuzawa M	消化器内科
39	J Hepatobiliary Pancreat Sci 17(3): 313-321, 2010	Novel photodynamic therapy against biliary tract carcinoma using mono-L- aspartyl chlorine e6: basic evaluation for its feasibility and efficacy	Kasuya K	消化器内科
40	Dig Endosc 22(2):151-155, 2010	Clinical evaluation of emergency endoscopic hemostasis with bipolar forceps in non-variceal upper gastrointestinal bleeding	Kataoka M	消化器内科
41	Int J Mol Med 25(2):209-215, 2010	Bispecific anti-HER2 and CD16 single-chain antibody production prolongs the use of stem cell-like cell transplantation against HER2-overexpressing cancer	Kasuya K	消化器内科
42	Dig Endosc 22(1): 1-9, 2010	General rules for recording endoscopic findings of esophagogastric varices (2nd edition)	Tajiri T*	消化器内科
43	Biochem Biophys Res Commun 392(2): 217-222, 2010	Efficient cross-presentation of soluble exogenous antigens introduced into dendritic cells using a weak-based amphiphilic peptide	Ikeuchi N	消化器内科
44	Diagn Microbiol Infect Dis 66(1): 120-123, 2010	Using the tannase gene to rapidly and simply identify Staphylococcus lugdunensis	Noguchi N	消化器内科
45	Surg Endosc 24(2): 345-352, 2010	Clinical outcome of endoscopic submucosal dissection versus endoscopic mucosal resection of large colorectal tumors as determined by curative resection	Saito Y	消化器内科
46	Hepatol Res 40(2): 135-144, 2010	Prolonged treatment with pegylated interferon alpha 2b plus ribavirin improves sustained virological response in chronic hepatitis C genotype 1 patients with late response in a clinical real-life setting in Japan	Watanabe S*	消化器内科
47	Am J Gastroenterol 105(1): 93-99, 2010	Single-balloon enteroscopy-assisted ERCP in patients with Billroth II gastrectomy or Roux-en-Y anastomosis (with video)	Itoi T	消化器内科
48	Ultrasound Med Biol 36(1): 78-85, 2010	Expression of heat shock protein 70 in rabbit liver after contrast-enhanced ultrasound and radiofrequency ablation	Liu GJ	消化器内科
49	J Hepatobiliary Pancreat Sci 17(5): 725-728, 2010	Large dilating balloon to allow endoscope insertion for successful endoscopic retrograde cholangiopancreatography in patients with surgically altered anatomy (with video)	Itoi T	消化器内科
50	World J Gastroenterol 16(36): 4575-4582, 2010	A predictive factor for the response to S-1 plus cisplatin in gastric cancer	Miyazaki I	消化器内科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
51	J Magn Reson Imaging 32 (1) :229-234, 2010	Effect of Gd-EOB-DTPA on T2-weighted and diffusion-weighted images for the diagnosis of hepatocellular carcinoma	Saito K	消化器内科
52	Gastrointest Endosc 72 (4) : 825-830, 2010	New large-diameter balloon-equipped sphincterotome for removal of large bile duct stones (with videos)	Itoi T	消化器内科
53	Eur Radiol 20 (11) : 2749-2757, 2010	Analysis of intrahepatic vascular morphological changes of chronic liver disease for assessment of liver fibrosis stages by micro-flow imaging with contrast-enhanced ultrasound: preliminary experience	Sugimoto K	消化器内科
54	Int Surg 95 (3) : 247-256, 2010	A newly developed degradable stent for pancreaticojejunostomy after pancreatoduodenectomy	Kasuya K	消化器内科
55	Clin Gastroenterol Hepatol 8 (11) : 934-938, 2010	Diagnostic peroral video cholangioscopy is an accurate diagnostic tool for patients with bile duct lesions	Itoi T	消化器内科
56	Diag Ther Endosc 2010: 153951, 2010	A newly-developed variable stiffness duodenoscope for diagnostic and therapeutic endoscopic retrograde cholangiopancreatography	Itoi T	消化器内科
57	J Hepatobiliary Pancreat Sci 17 (6) : 865-870, 2010	Pancreatobiliary reflux and the length of a common channel	Kamisawa T*	消化器内科
58	World J Radiol 2 (6) : 215-223, 2010	Computer-aided diagnosis for contrast-enhanced ultrasound in the liver	Sugimoto K	消化器内科
59	日本透析学会誌43 (5) : 433-441, 2010	糖尿病血液透析患者における日内血糖変動とグリコアルブミン、ヘモグロビンA1Cの関係	岡田 知也	腎臓内科
60	日本透析学会誌43 (6) : 487-491, 2010	透析患者に対する日本版精神健康調査票短縮版(日本版GHQ-28)を用いたうつ病のスクリーニング	江崎 真我	腎臓内科
61	Internal Medicine50 (1) : 23-29, 2011	Influence of Proteinuria on Glycated Albumin Values in Diabetic Patients with Chronic Kidney Disease	Tomonari Okada	腎臓内科
62	Nephrology16 (3) : 319-325, 2011	Clinical evaluation of chronic nephrotoxicity of long-term cyclosporine A treatment in adult patients with steroid-dependent nephrotic syndrome	Tomonari Okada	腎臓内科
63	J Neurol Sci 290:96-101, 2010	The progression of cognitive deterioration and regional cerebral blood flow patterns in Alzheimer's disease: A longitudinal SPECT study.	Hanyu H	老年病科
64	J Am Geriat Soc 58:1000-1001, 2010	The role of tumor necrosis- α in cognitive improvement after PPAR γ agonist pioglitazone treatment in Alzheimer disease.	Hanyu H	老年病科
65	Geriatr Gerontol Int 10:216-217, 2010	Prevalence of coexisting diseases in patients with Alzheimer's disease.	Sakurai H	老年病科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
66	日老医誌 47:147-152, 2010	軽度認知障害からアルツハイマー病への進行予測。	久米一誠	老年病科
67	糖尿病合併症24:61-64, 2010	糖尿病と認知症（特にアルツハイマー病との関連）	羽生 春夫	老年病科
68	Oncol Rep 23:1517-522 2010	Anticancer activity of phenoxazines produced by bovine erythrocytes on colon cancer cells	Nakachi T	老年病科
69	Brain Res 317:108-115, 2010	Is the periaqueductal gray an essential relay center for the micturition reflex pathway in the cat?	Takasaki A	老年病科
70	Dement Geriatr Cogn Disord Extra 1:62-74, 2011	A longitudinal SPECT study of different patterns of regional cerebral blood flow in Alzheimer's disease with or without diabetes	Hirao K	老年病科
71	Geriatrics and gerontology international 2011 Jan; (1) :77-82	Frontal Assessment Battery and brain perfusion images in amnesic mild cognitive impairment	Kume K	老年病科
72	European Journal of Haematology 84 (6) :499-505, 2010	Whole brain radiation alone produces favourable outcomes for AIDS-related primary central nervous system lymphoma in the HAART era	Nagai H*	臨床検査医学科
73	臨床病理 59 (1) : 37-41, 2011	血清マトリックスメタロプロテナーゼ-3は血友病性関節症の評価には有用ではない	尾形 享一	臨床検査医学科
74	Sleep Med. 11 (5) :452-7. 2010	Effects of insomnia and sleep medication on health-related quality of life.	Inoue Y	精神医学, 睡眠学
75	Sleep Med. 11 (5) :458-61. 2010	Olfactory dysfunction in idiopathic REM sleep behavior disorder.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
76	Eur Respir J. 35 (5) :1098-105. 2010	Optimal positive airway pressure predicts oral appliance response to sleep apnoea.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
77	Tohoku J Exp Med. 221 (3) :245-9. 2010	Exploring the daily activities associated with delayed bedtime of Japanese university students.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
78	J Sleep Res. 19 (2) :310-6. 2010	Short sleep duration and long spells of driving are associated with the occurrence of Japanese drivers' rear-end collisions and single-car accidents.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
79	J Neurol Sci. 294 (1-2) :62-6. 2010. 07	Long-term open-label study of pramipexole in patients with primary restless legs syndrome.	Inoue Y	精神医学, 睡眠学
80	J Occup Environ Med. 52 (8) :813-8. 2010	Excessive daytime sleepiness among Japanese public transportation drivers engaged in shiftwork.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
81	J Sleep Res. 19 (3) :436-53. 2010	Performance monitoring function during sleep inertia after a one hour daytime nap.	Asaoka S, Masaki H, Ogawa K, Murphy T I, Fukuda K, Yamazaki K.	精神医学, 睡眠学
82	Parkinsonism Relat Disord. 16 (10) :683-5. 2010. 12	Relationship between (123)I-MIBG scintigrams and REM sleep behavior disorder in Parkinson's disease.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
83	Parkinsons Dis. 2011:473640. 2011	Nonmotor Symptoms in Patients with PARK2 Mutations.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
84	Neuropsychopharmacology. 63 (1) :35-42 2011	Efficacy, safety, and dose-response of pramipexole in Japanese patients with primary restless legs syndrome: randomized trial	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
85	Eur Respir J. 37 (1) :209-12. 2011	Dose-dependent effects of mandibular protrusion on genioglossus activity in sleep apnoea.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
86	Respirology. 16 (1) :116-23. 2011	Changes in respiratory disorder parameters during the night in OSA.	Inoue Y	精神医学, 睡眠学
87	Psychiatry Clin Neurosci. 65 (1) :20-9. 2011	Correlations among insomnia symptoms, sleep medication use and depressive symptoms.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
88	J Sleep Res. 20 (1 Pt 1) :45-9. 2011	Relationship between clinical characteristics of narcolepsy and CSF orexin-A level.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
89	Sleep Biol Rhythms. 9:24-34, 2011	A meta-analysis on the treatment effectiveness of cognitive behavioral therapy for primary insomnia.	Inoue Y.	精神医学, 睡眠学
90	PlosOne 5 (1) : e8395, 2010	Sleep Deprivation Influences Diurnal Variation of Human Time Perception with Prefrontal Activity Change: A Functional Near-Infrared Spectroscopy Study	Soshi T	精神医学, 睡眠学
91	Gen Hosp Psychiatry 32 (3) : 276-283, 2010	Sleep-related problems and use of hypnotics in inpatients of acute hospital wards	Enomoto M	精神医学, 睡眠学
92	Neurosci Res 68 (3) : 225-231, 2010	Diurnal fluctuations in subjective sleep time in humans	Aritake-Okada	精神医学, 睡眠学
93	Chronobiol Int 27 (9-10) : 1797-1812, 2010	Evening preference is related to the incidence of depressive states independent of sleep-wake conditions.	Kitamura S	精神医学, 睡眠学

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
94	精神科治療学 25 (11) :1509-16. 2010	睡眠関連食行動障害の臨床的特徴に関する検討	井上雄一	精神医学, 睡眠学
95	日本公衆衛生学雑誌 57 (12) : 1066-1074, 2010	運転免許保有者の居眠り運転に関連する要因についての検討	井上 雄一	精神医学, 睡眠学
96	行動療法研究 36 (3) : 195-203, 2010	睡眠薬を長期服用している慢性不眠症患者に対する認知行動療法の効果	井上 雄一	精神医学, 睡眠学
97	心身医学 50 (5) : 387-395, 2010	痒みに対する不安が搔破行動を介して健康関連QOLに及ぼす影響—健常学生と成人型アトピー性皮膚炎患者の比較—	桶町 美華	精神医学, 睡眠学
98	神経精神薬理 14 (3) :479-91. 2011	CN-801 (modafinil) の安全性と有効性について—ナルコレプシーを対象とした長期投与試験の結果から—	井上雄一	精神医学, 睡眠学
99	Scandinavian Journal of Infectious Diseases 41 (3), 228-31. 2009	Cerebrospinal fluid analysis in children with seizures from respiratory syncytial virus infection.	Kawashima H.	小児科
100	International Journal of Rheumatic Diseases 12 (4), 307-310, 2009	Association of mannose-binding lectin gene polymorphisms with Kawasaki disease in the Japanese	Sato S.	小児科
101	Journal of Medical Virology 2009 Jun;81 (6) :1094-101	Modified adult measles in outbreaks in Japan, 2007-2008	Nagai M.	小児科
102	日本小児科学会雑誌 113, 1046-1048, 2009	RSウイルス感染予防を必要とする小児に関する全国調査の解析	森 雅亮*	小児科
103	日本小児救急医学会 雑誌 8 (1), 31- 34, 2009	当院で経験した溺水12例の臨床的検討	森地振一郎	小児科
104	Pediatric Research 68: 435-439, 2010	Changes in cerebral perfusion in extremely low birth weight infants during the first 72 hours after birth	Takami T	小児科
105	Journal of the neurological sciences 298 (1- 2) :106-9, 2010	Increased level of serum interleukin-1 receptor antagonist subsequent to resolution of clinical symptoms in patients with West syndrome	Yamanaka G	小児科
106	The Journal of Tokyo Medical University 68 (2), 225-230, 2010	Evaluation of changes in cerebral perfusion in healthy term newborn infants during the immediate postnatal period	Suganami Y	小児科
107	Pediatrics International 52 (2) : 171-4, 2010	Changes in serum lactate dehydrogenase activity in children with atopic dermatitis.	Morishima Y	小児科
108	Anti-Cancer Drugs 21 (1) : 89-93, 2010	Clinical response of large cell neuroendocrine carcinoma of the lung to perioperative adjuvant chemotherapy	Saji H.	呼吸器外科・甲状腺外科
109	Lung Cancer 67 (2) : 198-204, 2010	Breast cancer resistant protein (BCRP) is a molecular determinant of the outcome of photodynamic therapy (PDT) for centrally located early lung cancer	Usuda J.	呼吸器外科・甲状腺外科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
110	Journal of Thoracic Oncology 5 (1) : 62-68, 2010	Management of multiple primary lung cancer in patients with centrally located early cancer lesions	Usuda J.	呼吸器外科・甲状腺外科
111	Lung Cancer 69 (2) : 203-208, 2010	Cine MRI enables better therapeutic planning than CT and MRI in cases of possible lung cancer chest wall invasion	Kajiwara N.	呼吸器外科・甲状腺外科
112	J Proteomics 73 (6) : 1089-1099, 2010	Proteomic analysis of laser-microdissected paraffin-embedded tissues: (1) stage-related protein candidates upon non-metastatic lung adenocarcinoma.	Kawamura T.	呼吸器外科・甲状腺外科
113	J Proteomics 73 (6) : 1100-1110, 2010	Proteomic analysis of laser-microdissected paraffin-embedded tissues: (2) MRM assay for stage-related proteins upon non-metastatic lung adenocarcinoma.	Nishimura T.	呼吸器外科・甲状腺外科
114	Clinical Cancer Research 16 (7) : 2198-2204, 2010	Outcome of photodynamic therapy using NPe6 for bronchogenic carcinomas in central airways >1.0 cm in diameter	Usuda J.	呼吸器外科・甲状腺外科
115	肺癌 50 (2) : 141-150, 2010	肺腺癌細胞の分泌蛋白質群—外科的切除組織の培養上清に含まれる診断バイオマーカー候補の同定—	果 然	呼吸器外科・甲状腺外科
116	Journal of Thoracic Oncology 5 (10) : 1551-1558, 2010	Novel epidermal growth factor receptor mutation-specific antibodies for non-small cell lung cancer immunohistochemistry as a possible screening method for epidermal growth factor receptor mutations	Kato Y.	呼吸器外科・甲状腺外科
117	Journal of Thoracic Oncology 5 (7) : 970-975, 2010	Extratumoral vascular invasion is a significant prognostic indicator and a predicting factor of distant metastasis in non-small cell lung cancer	Shimada Y.	呼吸器外科・甲状腺外科
118	Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery 12 (2) : 112-116, 2011	Appropriate set-up of the da Vinci® surgical system in relation to the location of anterior and middle mediastinal tumors	Kajiwara N.	呼吸器外科・甲状腺外科
119	日本呼吸器外科学会雑誌 25 (4) : 352-355, 2011	縦隔腫瘍に対する高齢者 (75歳以上) 手術の検討	林 博樹.	呼吸器外科・甲状腺外科
120	Surg Today 40:538-42, 2010	Deep venous external valvuloplasty using a rigid angioscope	Komai H.	血管外科
121	Ann Thorac Surg 90: 677-678, 2010	Surgical technique of thoracic arch replacement for failed endovascular aortic repair	Iida Y	血管外科
122	日本内科学会雑誌第99巻第2号 (57-63) 2010	III治療へのアプローチ 1. 大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術	川口 聡	血管外科
123	Int Angiol 29 (suppl 1) :2-13, 2010	Three-years cardiovascular events and disease progress in patients with peripheral arterial disease: results from the Japan Medication Therapy for Peripheral Arterial Disease (J-METHOD).	Shigematsu H.	血管外科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
124	Int Angiol 29 (suppl 1):43-48, 2010	Prostaglandin receptors EP2 and IP are detectable in atherosclerotic arteries and plaques.	Muto A.	血管外科
125	Surg Today 40 (5):433-439, 2010	Primary stent placement for iliac artery chronic total occlusions.	Kondo Y.	血管外科
126	J Surg Res 161 (3):156-161	Vasodilator response correlates with outcome in chronic critical limb ischemia.	Muto A.	血管外科
127	Int Angiol 29 (3):260-265, 2010	Expression and localization of vascular endothelial growth factor in normal abdominal aorta and abdominal aortic aneurysm.	Nishibe T.	血管外科
128	静脈学 50 (6):753-758, 2010	ここまで来た下肢静脈瘤治療、下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療、ストリッピング術および結紮術の初期成績 デイサージェリーにおける比較	横村 進	血管外科
129	Chemotherapy56 (2):120-126, 2010	Correlations of clinicopathological factors with protein expression levels of thymidylate synthase, dihydropyrimidine dehydrogenase and orotate phosphoribosyltransferase in colorectal cancer	Sumi T.	消化器外科・小児外科
130	J Hepatobiliary Pancreat Sci 17 (3):313-321, 2010	Novel photodynamic therapy against biliary tract carcinoma using mono-L-aspartyl chlorine e6: basic evaluation for its feasibility and efficacy	Kasuya K.	消化器外科・小児外科
131	International surgery 2010 Jul-Sep;95 (3):247-056, 2010	A newly developed degradable stent for pancreaticojejunostomy after pancreatoduodenectomy	Kasuya K.	消化器外科・小児外科
132	World Journal of Gastroenterology 16 (15):1890-1895, 2010	Prognosis of cancer with branch duct type IPMN of the pancreas	Ikeuchi N.	消化器外科・小児外科
133	Pathol int. 2010 May60 (5):351-357, 2010	Deregulation of miR-92a expression is implicated in hepatocellular carcinoma development	Shigoka M.	消化器外科・小児外科
134	Anticancer Research 31 (2):633-638 (IP1. 656)	Phase II study of combined chemotherapy with docetaxel, CDDP and 5-FU for highly advanced esophageal cancer	Osaka Y.	消化器外科・小児外科
135	Journal of hepatobiliary pancreatic sciences18 (3):357-365 (IP1. 963)	Magnetic compression anastomosis for biliary obstruction: review and experience at Tokyo Medical University Hospital	Itoi T	消化器外科・小児外科
136	Journal of hepatobiliary pancreatic sciences18 (3):380-385 (IP1. 963)	Ultrasonography-guided hepatic tumor resection using a real-time virtual sonography with indocyanine green navigation (with videos)	Kasuya K	消化器外科・小児外科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
137	Journal of hepatobiliary pancreatic sciences18 (3) : 463-467 (IP1. 963)	Endoscopic placement of a new short-term biodegradable pancreatic and biliary stent in an animal model: a preliminary feasibility study (with videos)	Itoi T	消化器外科・小児外科
138	Cancer science102 (3) : 630-638 (IP3. 846)	Plasma biomarker discovery and validation for colorectal cancer by quantitative shotgun mass spectrometry and protein microarray	Murakoshi Y.	消化器外科・小児外科
139	Surg Endosc25 (3) : 713-721 (IP3. 436)	Long-and short-type double-balloon enteroscopy-assisted therapeutic ERCP for intact papilla in patients with a Roux-en-Y anastomosis	Itoi T.	消化器外科・小児外科
140	Hepato-gastroenterology58 (106) : 290-297 (IP0. 677)	Chemoprevention of chemically-induced biliary carcinogenesis in hamsters by vitamin K2	Tsuchida A.	消化器外科・小児外科
141	RETINA 30:339-344, 2010	Correlation of vascular endothelial growth factor with chemokines in the vitreous in diabetic retinopathy.	Wakabayashi Y	眼科
142	Diabetes Research and Clinical Practice 89:59-61, 2010	Increased levels of 8-hydroxydeoxyguanosine in the vitreous of patients with diabetic retinopathy.	Wakabayashi Y	眼科
143	臨床眼科64 : 317-322, 2010.	抗アクアポリン4抗体陽性視神経炎の視野変化	毛塚剛司	眼科
144	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 248:1487-1491, 2010	Rubella virus as a possible etiological agent of Fuchs heterochromic iridocyclitis.	Suzuki J	眼科
145	Jpn J Ophthalmol 54:392-395, 2010	Retinal macroaneurysm associated with ocular sarcoidosis.	Yokoi K	眼科
146	臨眼 64 : 1183-1186, 2010.	網膜中心静脈閉塞症に対するベバシズマブ硝子体内投与	川上摂子	眼科
147	Invest Ophthalmol Vis Sci 51:5099-5104, 2010.	Expression and function of inducible costimulator on peripheral blood CD4+ T cells in Behçet' s patients with uveitis : a new activity marker?	Usui Y	眼科
148	日本眼科学会雑誌 114 : 362-368, 2010.	硝子体手術を施行した急性網膜壊死（桐沢型ぶどう膜炎）52例の検討	臼井嘉彦	眼科
149	あたらしい眼科 27 : 539-543, 2010.	急性網膜壊死患者における網膜神経線維層厚と乳頭形状の検討	臼井嘉彦	眼科
150	Experimental Eye Research 91:685-690, 2010	Kinetics of polymorphonuclear leukocytes in an experimental hypopyon model.	Yamamoto T	眼科
151	Invest Ophthalmol Vis Sci. 51:2109-2117, 2010	Suppression of experimental autoimmune uveoretinitis by inducing differentiation of regulatory T cells via activation of aryl hydrocarbon receptor.	Zhang L	眼科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
152	Jpn J Ophthalmol 53:648-50 2010	Refractory eosinophilic granulation tissue of the palpebral conjunctiva.	Matsunaga Y	眼科
153	Exp Eye Res 91 (4) : 491-499, 2010	Human uveal melanoma cells inhibit the immunostimulatory function of dendritic cells.	Ma J	眼科
154	J Biomed Opt. 15 (6) : 061705, 2010.	Visibility of trabecular meshwork by standard and polarization-sensitive optical coherence tomography.	Yasuno Y*	眼科
155	Acta Ophthalmol 88: e30-31, 2010.	Correlation between cerebrospinal fluid cell count and cerebrospinal fluid level of chemokine, monokine induced by interferon-gamma in Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Keino H*	眼科
156	Invest Ophthalmol Vis Sci. 51:2529-2536, 2010	Suppression of bystander T helper 1 cells by iris pigment epithelium inducing regulatory T cells via negative costimulatory signals.	Sugita S*	眼科
157	Asian Journal of Neurosurgery 5: 15-23, 2010	JSNT-Guidelines for the Management of Severe Head Injury (Abridged edition)	Shima K	脳神経外科
158	小児の脳神経 35 (5) : 523, 2010	日本小児脳神経外科のかけがえのない宝物と誇り	三木 保	脳神経外科
159	茨城県臨床医学雑誌 46: 114, 2010	症候性松果体部嚢胞に対する神経内視鏡手術	三木 保	脳神経外科
160	BRAIN MEDICAL 22 (3) : 67-72, 2010	悪性脳腫瘍に対する光線力学療法 (photodynamic therapy; PDT)	Akimoto J	脳神経外科
161	CI研究 32 (1) : 1-9, 2010	悪性グリオーマの病態理解における3.0 Tesla H-MR Spectroscopyの有用性	秋元 治朗	脳神経外科
162	日本臨牀 68 (10) : 383-387, 2010	光線力学的治療 Photodynamic therapy for brain tumor	秋元 治朗	脳神経外科
163	J Neuropathol Exp Neurol 69 (5) : 498-510, 2010	Expression of hydroxyindole-O-methyltransferase enzyme in human central nervous system and in pineal parenchymal cell tumors	Fukuda T	脳神経外科
164	Neuroradiology 52: 997-1002, 2010	Endocrinological and MRI features of pituitary adenomas with marked xanthogranulomatous reaction	Nishioka H	脳神経外科
165	Intern Med 49 (6) : 535-541, 2010	Classification of cerebellar atrophy using voxel-based morphometry and SPECT with an easy Z-score imaging system	Nanri K	脳神経外科
166	Endocr Pathol 21: 236-241, 2010	Immunohistochemical Study for IgG4-positive Plasmacytes in Pituitary Inflammatory Lesions	Nishioka H	脳神経外科
167	東医大誌 68 (4) : 473, 2010	悪性髄膜腫に対する遺伝子解析	深見真二郎	脳神経外科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
168	American Journal of Transplantation 10 (Supplement4): 444, 2010	Support with a mobile automated cardiopulmonary resuscitation device for kidney donation after cardiac death donors in the emergency department	Turukiri J	脳神経外科
169	Journal of Trauma 68 (1): 90-95, 2010	Impact of mobile angiography in the emergency department for controlling pelvic fracture hemorrhage with hemodynamic instability	Turukiri J	脳神経外科
170	神経外傷 33: 42-47, 2010	重症頭部外傷合併多発外傷に来院時頻脈が予後に与える影響についての検討	弦切 純也	脳神経外科
171	Neurol Med Chir 50: 20-26, 2010	Operative management of skull base malignant tumors arising from the nasal cavity and paranasal sinus: recent strategies used in 25 cases	Jimbo H	脳神経外科
172	International Journal of Neurology and Neurosurgery 1: 109-116, 2009	Markers of endothelial disorder after subarachnoid hemorrhage sequential changes and impact of open and endovascular surgery	Jimbo H	脳神経外科
173	Acta Otolaryngol 130: 804-809, 2010	Model experiments of otoconia stability after canalith repositioning procedure of BPPV	Otsuka K.	耳鼻咽喉科
174	Acta Otolaryngol 130: 1092-1096, 2010	Effect of cupula shrinkage on the semicircular canal activity	Iimura Y.	耳鼻咽喉科
175	J Otolaryngol Head & Neck Surg: 39:115-21, 2010	Vestibular morphology in the German Waltzing guinea pig	Kawaguchi S.	耳鼻咽喉科
176	Acta Otolaryngol 130: 652-658, 2010	Morphological change of the cupula due to an ototoxic agent -A comparison with semicircular canal pathology-	Konomi U.	耳鼻咽喉科
177	Acta Otolaryngol 130: 1135-1140, 2010	Clinical characteristics of delayed endolymphatic hydrops in Japan: A nationwide survey by the Peripheral Vestibular Disorder Research Committee of Japan	Shojaku H*.	耳鼻咽喉科
178	Eur Arch Otorhinolaryngol 267: 737-741, 2010	Globus sensation and increased upper esophageal sphincter pressure with distal esophageal acid perfusion	Tokashiki R.	耳鼻咽喉科
179	Eur Arch Otorhinolaryngol 267: 1893-1903, 2010	New approach to diagnose arytenoid dislocation and subluxation using three-dimensional computed tomography	Hiramatsu H.	耳鼻咽喉科
180	J Vestib Res 20: 373-80, 2010	Auditory-pupillary responses in deaf subjects	Kitajima N.	耳鼻咽喉科
181	Auris Nasus Larynx 38: 215-219, 2011	Eustachian tube function in patients with Meniere's disease	Kitajima N.	耳鼻咽喉科
182	癌と化学療法 37: 1244-1249, 2010	Head and Neck Cancer 頭頸部がん TPFを用いた化学療法併用放射線治療の有用性	吉田 知之	耳鼻咽喉科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
183	耳展 53 : 254-259, 2010	頭蓋底腫瘍に対する選択的動注化学療法のアップデート	吉田 知之	耳鼻咽喉科
184	Equilibrium Res 69: 27-38, 2010	内耳性めまいが疑われ当科を受診した脳血管障害症例の急性期眼振所見	小川 恭生	耳鼻咽喉科
185	日気食会報 61 : 368-374, 2010	披裂軟骨内転術を術者単独で施行するための手術手技と器具の工夫	中村 一博	耳鼻咽喉科
186	日気食会報 61 : 445-451, 2010	術者単独で施行する外来日帰り局所麻酔下喉頭内視鏡下手術	中村 一博	耳鼻咽喉科
187	頭頸部癌 36 : 290-296, 2010	上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法併用放射線療法の検討	岡本 伊作	耳鼻咽喉科
188	耳鼻と臨床 56 : 1-7, 2010	半規管瘻孔症例の臨床的検討	品田恵梨子	耳鼻咽喉科
189	耳鼻臨床 103 : 453-458, 2010	口腔咽頭領域におけるVerrucous Carcinomaの5例	近藤 貴仁	耳鼻咽喉科
190	耳展 53 : 287-292, 2010	起立性調節障害の経過と自覚症状の評価	近藤 貴仁	耳鼻咽喉科
191	耳展 53 : 90-96, 2010	花粉症に対する顔スチームミストネブライザー療法の検討-季節性アレルギー性結膜炎の新しい治療法-	荒木 進	耳鼻咽喉科
192	日気食会報 61 : 452-457, 2010	片側声帯麻痺に対する披裂軟骨内転術術後のピッチレンジに関する検討	高木 真紀	耳鼻咽喉科
193	音声言語医学 51 : 171-178, 2010	喉頭瘢痕における3DCTの診断治療における意義	平松 宏之	耳鼻咽喉科
194	日本補完代替医療学会誌 7 : 95-102, 2010	メニエール病に対するハーブティー療法の試み	北島 尚治	耳鼻咽喉科
195	耳喉頭頸 83:67-72, 2011	新しい検査法: SVV	小川恭生	耳鼻咽喉科
196	Otol Neurotol 32:147-51, 2011	Round window membrane in Meniere's disease: a human temporal bone study	Yoda S	耳鼻咽喉科
197	耳鼻臨床 104 : 94-95, 2011	ハーモニックFOCUS? を使用した頸部郭清術	塚原清彰	耳鼻咽喉科
198	日気食会報 62:1-10, 2011	披裂軟骨内転術および甲状軟骨形成術の合併症の検討.	中村一博	耳鼻咽喉科
199	Acta OtoLaryngol 131: 263-268, 2011	Blockage of longitudinal flow in Meniere's disease: A human temporal bone study	Shimizu S	耳鼻咽喉科
200	Audiology Japan 54: 95-101, 2011	入院加療を行ったGrade3以上の突発性難聴の検討	河口幸江	耳鼻咽喉科
201	口咽科 24 : 1-18, 2011	「シンポジウム 口腔癌の超選択的動注化学放射線療法の実際」口腔の超選択的動注化学放射線療法の実際	吉田知之	耳鼻咽喉科
202	日気食会報 62 : 198-204, 2011	声帯麻痺に対する治療の最前線・甲状軟骨形成術1型の適応	中村一博	耳鼻咽喉科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
203	Equilibrium Res 70:167-170, 2011	めまい疾患における補完代替医療の役割	北島尚治	耳鼻咽喉科
204	Spine 35 (9) : 344-6, 2010	Total sagittal spinal alignment in patients with lumbar canal stenosis accompanied by intermittent claudication.	Suzuki H	整形外科
205	J Orthop Surg (Hong Kong) 18 (1) : 63-7, 2010	Radiological and histological analysis of synthetic bone grafts in recurring giant cell tumor of bone: a retrospective study	Hattori H	整形外科
206	Eur Spine J. 19 (5) : 782-6, 2010	Clasped position for measurement of sagittal spinal alignment	Suzuki H	整形外科
207	Surg Radiol Anat. 32 (7) : 683-8, 2010	The coracoclavicular ligaments: an anatomic study	Takase K	整形外科
208	運動療法と物理療法 21 (1) : 39-44, 2010	3軸加速度計による片脚動作時の姿勢調節と安定性の評価	上野 竜一	整形外科
209	Journal of Spine Research 1 (7) : 1267-1271, 2010	健常人の脊椎矢状面alignment (骨盤形態角) からみた腰痛素因	遠藤 健司	整形外科
210	Journal of Spine Research 1 (7) : 1272-1276, 2010	腰部脊柱管狭窄症患者における脊椎-骨盤alignmentの相関	鈴木 秀和	整形外科
211	日本手外科学会雑誌 26 (4) : 309-312, 2010	難治症例を含めた舟状骨偽関節症例に対する治療成績	高瀬 勝己	整形外科
212	肩関節 34 (3) : 943-946, 2010	著明な骨頭内反転位を呈した上腕骨近位端骨折後偽関節の一例	新村光太郎	整形外科
213	肩関節 34 (3) : 701-704, 2010	反復性肩関節前方 (亜) 脱臼に合併したSLAP lesionに対する治療の是非	高瀬 勝己	整形外科
214	肩関節 34 (3) : 591-594, 2010	烏口鎖骨靭帯の解剖学的特徴 (第2報)	高瀬 勝己	整形外科
215	関東整形災害雑誌 41 (6) : 362-364, 2010	腰部脊柱管狭窄症に対する椎弓部分切除後の脊柱矢状面アライメント	江川誠一郎	整形外科
216	日本人工関節学会誌 40 : 580-581, 2010	半拘束型人工肘関節の合併症と対策	三部 順也	整形外科
217	日本関節病学会誌 29 (4) : 547-550, 2010	腰椎変性疾患手術例における自己血輸血の検討	佐野 圭二	整形外科
218	日本肘関節学会雑誌 17 (2) : 176-178, 2010	裂離骨折を伴った上腕三頭筋皮下断裂に対するSuture Anchorを用いたBridging Suture法	高瀬 勝己	整形外科
219	日本手外科学会雑誌 27 (3) : 282-285, 2010	稀な手根骨骨折における治療成績の検討	高瀬 勝己	整形外科
220	日本手外科学会雑誌 27 (6) : 779-782, 2011	有頭骨関節面を用いた橈骨手根関節形成術の治療経験	高瀬 勝己	整形外科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
221	日本小児整形外科学会雑誌 20 (1) : 103-108、2011	小児上腕骨外顆骨折の治療成績	河野 亮平	整形外科
222	日本小児整形外科学会雑誌 20 (1) : 26-30、2011	ベルテス病に対する近赤外線治療成績不良例の検討	朝貝 芳美	整形外科
223	JOSKAS 36 (1) : 118-119、2011	RA患者の人工膝関節置換術、後足部固定術一期的手術例の検討	三部 順也	整形外科
224	JOSKAS 36 (1) : 18-19、2011	0歳以上の反復性肩関節前方(亜)脱臼における鏡視所見	高瀬 勝己	整形外科
225	The Journal of Tokyo Medical University・68・367-371・2010	Infraeyebrow blepharoplasty in East Asia	Sugamata A	形成外科
226	Journal of Plastic Surgery Hand Surgery・44・17-20・2010	Infraeyebrow excision blepharoplasty for Japanese blepharochalasis: Review of 35 patients over 60 years old.	Sugamata A	形成外科
227	Journal of Plastic Surgery Hand Surgery 44: 278-281.	Clinical analysis of orbital blowout fracture caused by a globe-to-wall contact mechanism.	Sugamata A	形成外科
228	形成外科 53 (5) : 491-500	特集熱傷診療ガイドライン—その読み方と活用法 重症度評価と初期輸液	松村一	形成外科
229	救急医学 34 (4) : 447-450	特集熱傷治療ガイド2010 皮膚代償物	松村一	形成外科
230	トラブルのない創閉鎖—真皮縫合の正しい理解とその手技— 2 (1) : 95-98	トラブルのない創閉鎖—真皮縫合の正しい理解とその手技—	松村一	形成外科
231	形成外科 53増刊号: S106	形成外科の治療指針update 2010 III 頭頸部疾患 28, 顔面軟部組織損傷 d, 耳介皮下血腫	松村一	形成外科
232	形成外科 53 (8) : 867-871.	広範囲熱傷における手指熱傷の治療戦略 手指深達性熱傷治療におけるピットフォールとその対策	松村一	形成外科
233	PEPEARS 47: 43-49	特集/熱傷の初期治療とその後の管理の実際 人工真皮の使用の実際	松村一	形成外科
234	形成外科 53 (8) : 867-871	広範囲熱傷における手指熱傷の治療戦略: 手指深達性熱傷治療におけるピットフォールとその対策	松村一	形成外科
235	形成外科 53 (5) : 491-500	熱傷治療ガイドライン—その読み方と活用法 重症度評価と初期輸液	松村一	形成外科
236	皮膚科の臨床 52: 554-555	人工真皮を用いた癩痕性爪甲剥離症・爪短縮症の治療.	菅又章	形成外科
237	癩痕・ケロイド治療ジャーナル 4: 118-121	陰部ケロイドの治療の考え方	菅又章	形成外科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
238	医学のあゆみ 237 (1) : 151-154.	新しいデブリードマン技術:Hydrosurgery- VERSAJETHydrosurgerySystemによるデブリー ドマンの有効性	松村一	形成外科
239	日本マイクロサー ジャー学会誌 23 (3) : 283-294	日本での皮弁モニタリングおよび術中術後薬 剤に関するアンケートの検討	権東容秀	形成外科
240	Hepatology 51 (1) : 347-348, 2010	Minocycline sensitizes rodent and human liver mitochondria to the permeability transition: implications for toxicity in liver transplantation	Mansson R	麻酔科
241	Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism: 1- 11, 2010	The asparaginyl endopeptidase legumain after experimental stroke	Ishizaki T	麻酔科
242	Indian J Pediatr 78 (3) : 348-350, 2010	Extreme Efficiency of Airway Pressure Release Ventilation (APRV) in a Patient Suffering from Acute Lung Injury with Pandemic Influenza A (H1N1) 2009 and High Cytokines	Kawashima H	麻酔科
243	Journal of Anesthesia 24:626- 629, 2010	Inadequate gas supply to patients with an adjustable pressure-limiting valve in the fully opened position	Hirabayashi G	麻酔科
244	J Dermatol 37: 360- 362, 2010	Temporal triangular alopecia and a review of 52 past cases	山崎 正視	皮膚科
245	Eur J Dermatol 20: 626-629, 2010	IgA pemphigus reacting exclusively to desmoglein 3	田嶋 磨美	皮膚科
246	Australas J Dermatol 51: 131- 134, 2010	Poroma with sebaceous differentiation: Report of three cases	倉繁 祐太	皮膚科
247	J Am Acad Dermatol 62: 1050-1052, 2010	Rosaceiform dermatitis associated with topical tacrolimus treatment	藤原 尚子	皮膚科
248	Rheumatol Int 30: 969-971, 2010	Discoid lupus erythematosus in a patient with scleroderma and hepatitis C virus infection	山本 真美	皮膚科
249	J Invest Dermatol 130: 944-952, 2010	Keratinocytes synthesize enteropeptidase and multiple forms of trypsinogen during terminal differentiation	山本 真美	皮膚科
250	J Dermatol Sci 61:110-117, 2011	Quantification of activated and total caspase14 with newly developed ELISA systems in normal and atopic skin.	山本 真美	皮膚科
251	Obesity Research & Clinical Practice. 2010 Apr; e301- e306.	High prevalence of periodontitis in non- elderly obese Japanese adults.	Sayaka Katagiri	歯科口腔外科
252	Chest. 2010 Jun; 137 (6) :1310-1315.	Clinical characteristics in two subgroups of obstructive sleep apnea syndrome in elderly.	Mina Kobayashi	歯科口腔外科
253	Sleep and Breath. 2010 Jun.	Changes in cerebral hemoglobin indices in obstructive sleep apnea syndrome with nasal continuous positive airway pressure treatment.	Akira Matsuo	歯科口腔外科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
254	Odontology. 2010 Jul; 98 (2) :181-184	Navigation surgery for Le Fort I osteotomy in a fibrous dysplasia patient.	Akira Matsuo	歯科口腔外科
255	Asian. J. Oral. Maxillofac. Surg. 2010 Aug; 22 (2) :61-67.	Improvement in wound healing by a novel synthetic collagen-gel dressing in genetically diabetic mice.	Daichi Chikazu	歯科口腔外科
256	J. Endod. 2010 Sep; 36 (9) :1593-1596.	Metastasis of Hepatocellular Carcinoma into the Mandible with Radiographic Findings Mimicking a Radicular Cyst: A Case Report.	Hisako Fujihara	歯科口腔外科
257	Med Mol Morphol. 2010 Sep; 43 (3) :185-91.	Successfully-treated inflammatory myofibroblastic tumor of the mandible with long term follow-up and review of the literature.	Takafumi Satomi	歯科口腔外科
258	In vivo. 2010 Sep-Oct; 24 (5) :709-713.	Effect of Itraconazoles on the Production of Pro-inflammatory Substances in Mouse Macrophage-like Cells.	Takao Kato	歯科口腔外科
259	Asian. J. Oral. Maxillofac. Surg. 2010 Aug; 22 (2) :68-73.	The influence of causes of hyposalivation on clinical outcome of nizatidine in patients with dry mouth.	Takashi Ogawa	歯科口腔外科
260	Oral Med Pathol. 2010;14:135-141	Clinical significance of expression of thymidylate synthase and dihydropyrimidine dehydrogenase in oral squamous cell carcinoma.	Masako Tsuzuki	歯科口腔外科
261	Bio-Medical Materials and Engineering 2010;20 (5) :283-293.	Polishing of dental porcelain by polycrystalline diamond.	Yoshiharu Nakamura	歯科口腔外科
262	Int J Oral Maxillofac Surg. 2011 Mar;40 (3) :322-326.	Cyclooxygenase-2 activity is important in craniofacial fracture repair	Daichi Chikazu	歯科口腔外科
263	Asian J. Oral Maxillofac. Surg. 2011 Mar;23 (1) :25-27.	Reiter's syndrome (reactive arthritis) with trismus after intravesical BCG immunotherapy: A case report.	Noriko Hatano	歯科口腔外科
264	J Craniomaxillofac Surg 2011Mar 16	Bone quality of mandibles reconstructed with particulate cellular bone and marrow, and platelet-rich plasma.	Akira Matsuo	歯科口腔外科
265	東京医科大学雑誌 68 (3) : 330-337, 2010.	当科におけるAQBインプラント埋入患者に関する臨床的検討	金子忠良	歯科口腔外科
266	東京医科大学雑誌 68 (2) : 205-216, 2010.	Hydroxyapatite/poly-L-lactideメッシュトレーと海綿骨細片による下顎骨再建後の骨微細構造の検討	高橋英俊	歯科口腔外科
267	Therapeutic Research. 31 (3) : 399-405, 2010.	口腔乾燥症に対するニザチジンの効果	小川 隆	歯科口腔外科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
268	東京医科大学雑誌68 (4) : 380-386, 2010.	下顎骨の垂直的仮骨延長後の骨微細構造.	土屋浩昭	歯科口腔外科
269	神奈川歯学雑誌 45 (1) : 1-7, 2010.	Angelo A Capto. Hader BarとNon-splinted Stud attachments のデザイン差による下顎インプラント補助型オーバーデンチャーの荷重応答に関する研究.	北條 了	歯科口腔外科
270	神奈川歯学雑誌45 (1) : 17-22, 2010.	インプラント補助型Obturatorによる上顎口蓋欠損処置後の7年予後調査	北條 了	歯科口腔外科
271	日本口腔外科学会雑誌56 (3) : 166-169, 2010	局所麻酔薬持続投与法による腸骨採取部の疼痛管理の検討	續 雅子	歯科口腔外科
272	日本口腔外科学会雑誌56 (12) : 735-739, 2010.	アメリカ合衆国における口腔外科専門医育成プログラムの現状	虻川東嗣	歯科口腔外科
273	東京医科大学雑誌 68 (3) : 312-321, 2010	バクリタキセル耐性子宮体癌細胞株EI-TRxの樹立とそのメカニズムの解析	許 春花	産科婦人科
274	Oncol Let 1 (5) : 861-864, 2010	Incidental events of diaphragmatic surgery in 82 patients with advanced ovarian, primary peritoneal and fallopian tubal cancer	Terauchi F	産科婦人科
275	Hum Cell. 2010 Aug;23 (3) : 83-8.	Bone morphogenetic protein 2 may be a good predictor of success in oocyte fertilization during assisted reproductive technology.	Sugiyama R	産科婦人科
276	Hum Reprod. 2010 Sep;25 (9) : 2229-38. Epub 2020	Possible role of the exchange protein directly activated by cyclic AMP (Epac) in the cyclic AMP-dependent functional differentiation and syncytialization of human placental BeWo cells.	Yoshie M*	産科婦人科
277	J. Tokyo Med. Univ., 68 (4) : 396-402, 2010	Efficient gene transfer to endometrial adenocarcinoma cell line (Ishikawa) by Tol2 transposable element: a possible DNA vector for gene therapy for implantation failure	Yoshichika S	産科婦人科
278	東京母性衛生学会誌 26 (1) : 22-25, 2010	産科出血を考える 臨床の現場における産科出血への対応と問題点	野平 知良	産科婦人科
279	J Urol. 2010 Sep;184 (3) : 873-8.	Pretreatment neutrophil-to-lymphocyte ratio as an independent predictor of recurrence in patients with nonmetastatic renal cell carcinoma.	Yoshio Ohno	泌尿器科
280	Int J Urol. 2010 Mar;17 (3) : 274-80	Predicting the probability of significant prostate cancer in Japanese men with serum prostate-specific antigen less than 10 ng/mL: development of a novel pre-biopsy nomogram.	Ohigashi T*	泌尿器科
281	Urology. 2010, Jun;75 (6) : 1385-90	Late recurrence and progression in non-muscle-invasive bladder cancers after 5-year tumor-free periods.	Matsumoto K*	泌尿器科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
282	The Internet Journal of Urology. 2010 Volume 7 Number 2	Prostate Brachytherapy Seed Migration To The Ischial Bone: 2 Case Reports.	Sugawara A*	泌尿器科
283	Radiat Oncol. 2010 Sep 28;5:86.	Preimplant factors affecting postimplant CT-determined prostate volume and the CT/TRUS volume ratio after transperineal interstitial prostate brachytherapy with 125I free seeds.	Sugawara A*	泌尿器科
284	Jpn J Clin Oncol. 2010 Jan;40 (1) :79-84.	Docetaxl in combination with prednisolone for hormone refractory prostate cancer	Ide H*	泌尿器科
285	Jpn J Clin Oncol. 2010 Feb;40 (2) :177-80	prognostic stratification in patients who received hormonal therapy for prostate-specific antigen recurrence after redical prostatectomy	Ide H*	泌尿器科
286	泌尿器外科 23 (8) 1111-1113, 2010	根治的前立腺摘除術が施行されたhigh risk 限局性前立腺癌症例におけるPSA再発の検討	濱田理宇	泌尿器科
287	Int J Urol. 17 (7) :629-34, 2010	Safety and efficacy of docetaxel, estramustine phosphate and hydrocortisone in hormone-refractory prostate cancer patients	Nakagami Y	泌尿器科
288	Int J Urol 7 (3) :267-72, 2010	Development and internal validation of a nomogram predicting extracapsular extension in radical prostatectomy specimens.	Satake N ,	泌尿器科
289	Int J Urol Jun;17 (6) :534-40. 2010	Mogram to predict seminal vesicle invasion using the status of cancer at the base of the prostate on systematic biopsy.	Ohori M	泌尿器科
290	Int J Urol 17;689-697 2010	Characteristics and management of erectile dysfunction after various treatments for prostare cancer	soh J*	泌尿器科
291	泌尿器外科 23 1563-1568 2010	【開腹手術にも役立つ腹腔鏡下前立腺全摘除術における工夫とその効果】ロボテックでの膀胱背側の補強	吉岡 邦彦	泌尿器科
292	Urology 75 (4) 805-812 2010	Potent cytotoxic Effect of a Novel Nuclear Factor-kB Inhibitor Dehydroxymethylwpoxyquinomicin on Human Bladder Cancer Producing Various Cytokines	Kiichiro K*	泌尿器科
293	J Magn Reson Imaging 32 (1) : 229-234, 2010	Effect of Gd-EOB-DTPA on T2-weighted diffuson-weighted images for the diagnosis of hepatocellular carcinoma	Saito K	放射線科
294	東医大誌 68 (1) : 53-62, 2010	仰臥位撮像法によるMR mammographyの検討	徐 樹明	放射線科
295	画像診断臨時増刊号 30 (11) : 210-219, 2010	基本を押さえる！胸部画像 9. 先天異常・新生児の肺疾患 呼吸窮迫症候群 新生児一過性多呼吸 胎便吸引症候群 Air leak	原 裕子	放射線科

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
296	Int J Radiat Oncol Biol Phys 78 (2) : 467-471, 2010	Proton beam therapy for patients with medically inoperable stage I non-small-cell lung cancer at the university of tsukuba	Nakayama H	放射線科
297	Int J Radiat Oncol Biol Phys 78 (3) : 645-650, 2010	High-dose conformal radiotherapy for patients with stage III non-small-cell lung carcinoma	Nakayama H	放射線科
298	J Magn Reson Imaging 32 (1) : 229-34, 2010	Effect of Gd-EOB-DTPA on T2-weighted and diffusion-weighted images for the diagnosis of hepatocellular carcinoma	Saito k	放射線部
299	東京医科大学雑誌 68: 322-329, 2010	COPD患者に対する短期間の四肢筋および吸気筋リハビリテーションの併用効果	杉山憲弘	臨床腫瘍科
300	Clin Gastroenterol Hepatol 8: 934-938, 2010	Diagnostic Peroral Video Cholangioscopy is an Accurate Diagnostic Tool for Patients with Bile-duct Lesions.	Takao Itoi	臨床腫瘍科
301	運動 物理療法21 (1) : 39-44 2010.	3軸加速度計による片脚動作時の姿勢調節と安定性の評価	上野竜一	リハビリテーションセンター
302	Dig Endosc 22 (2) : 151-155, 2010	Clinical evaluation of emergency endoscopic hemostasis with bipolar forceps in non-variceal upper gastrointestinal bleeding	Kataoka M	内視鏡センター
303	J Gastroenterol Hepatol (Suppl 1) : S80-85, 2010	Helicobacter pylori infection and reflux esophagitis in young and middle-aged Japanese subjects	Kawai T	内視鏡センター
304	World J Gastroenterol 16 (36) : 4575-4582, 2010	A predictive factor for the response to S-1 plus cisplatin in gastric cancer	Miyazaki I	内視鏡センター
305	J Gastroenterol Hepatol (Suppl 1) : S23-30, 2010	Impact of upper gastrointestinal lesions in patients on low-dose aspirin therapy: preliminary study	Kawai T	内視鏡センター
306	日本臨床救急医学雑誌 14(1): 14-21, 2011	救急連携クリニカルパス運用による多職種連携 一病院前から初療現場で情報共有・診療の可視化を行う試みとして一	織田 順	救急医学講座
307	神経外傷 (日本脳神経外傷学会機関誌) 33(1): 42-47, 2010	重症頭部外傷合併多発外傷に来院時頻脈が予後に与える影響についての検討	弦切 純也	救急医学講座
308	Tropical Medicine and Health 38: 103-106, 2010	Mefloquine chemoprophylaxis against malaria in Japanese travelers	Mizuno Y.	感染制御部
309	感染症学雑誌 84: 165-170, 2010	スペインインフルエンザにより死亡例の臨床像	藤倉 雄二*	感染制御部
310	Bioscience Biotechnology and Biochemistry 74:1338-42, 2010	Oral administration of heat-killed Lactobacillus plantarum strain b240 protects mice against Salmonella enterica serovar Typhimurium.	Ishikawa H.	感染制御部

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
311	Microbiology & Immunology 54:330-7, 2010	Involvement of endotoxin in the mortality of mice with gut-derived sepsis due to Methicillin Resistant Staphylococcus aureus.	Uramatsu M. *	感染制御部
312	BioScience Trends 4:72-78, 2010	A novel model for prognosis of Meniere's disease using oxidative stress susceptibility of lymphoblastoid cell lines.	Hayashi K. *	感染制御部
313	Virology 407 (2) :325-332, 2010	IFN- γ production downstream of NKT cell activation in mice infected with influenza virus enhances the cytolytic activities of both NK cells and viral antigen-specific CD8+ T cells	Ishikawa H.	感染制御部
314	BMC Veterinary Research 17:6:52, 2010	Prevalence and analysis of Pseudomonas aeruginosa in chinchillas.	Hirakawa Y. *	感染制御部
315	日本小児科学会雑誌 115 (3) :653-656, 2011	海外帰国後小児の健康上の問題点	水野・泰孝	感染制御部
316	J Infect Chemother 17:419-423, 2011	Clinical and radiological features of imported chikungunya fever in Japan: a study of six cases at the National Center for Global Health and Medicine	Mizuno Y.	感染制御部
317	J Natl Def Med Coll 35: 134-139, 2010	Risk factor of Heterophyes infection among Japanese expatriates at Cairo (Egypt), 2005-2008	Okuzawa E. *	渡航者医療センター
318	Tropical Medicine and Health 38:143-146, 2010	Prevalence of heterophyid infection among Japanese residents of Egypt (2005-2008) and its association with length of stay	Okuzawa E. *	渡航者医療センター
319	日本職業災害医学会誌 59: 69-72, 2011	海外勤務者における現地医療機関受診状況の調査	大塚 優子*	渡航者医療センター

合計
319件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 (行岡 哲男)
管理担当者氏名	事務部長 (松田功)、薬剤部長 (明石貴雄)、総務課長 (吉岡博) 医事課長 (出家敏之)、人事課長 (中野隆介) 中央病歴室長 (山本謙吾)、安全管理室長 (相馬孝博) 感染制御部長 (松本哲哉)、臨床工学部長 (内野博之)、各診療科長

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 薬剤部 中央病歴室	日誌等はファイルにより保管。診療に関する諸記録はターミナルディジットファイルリング方式を取り、入院・外来別に1患者1ファイルを原則に保管管理している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	担当する各部門において、コンピュータ又はファイル等により保管し管理している。	
	高度の医療の提供の実績	各診療科 医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科		
	高度の医療の研修の実績	各診療科		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課 医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部 医事課		
	第規一則号第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理室	担当する各部門において、コンピュータ又はファイル等により保管し管理している。
	に掲げる	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	感染制御部	
	十	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理室	
一	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理室		
制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理室		
第	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部		
一	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	安全管理室		
項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	安全管理室 総合相談・支援センター		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	担当する各部門において、コンピュータ又はファイル等により保管し管理している。
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	
	各号	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	
	及び	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	
	第九条	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
	の	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
	二十三	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	
	第一項	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	
第一号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況		
に掲げる	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況		
体制の			
確保の			
状況			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長（行岡哲男）
閲覧担当者氏名	事務部長（松田功），薬剤部長（明石貴雄），総務課長（吉岡博） 医事課長（出家敏之），人事課長（中野隆介） 中央病歴室長（山本謙吾），安全管理室長（相馬孝博） 感染制御部長（松本哲哉），臨床工学部長（内野博之），各診療科長
閲覧の求めに応じる場所	本館6階 会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 1 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	56.1 %	算定期間	平成 22年 4月 1日～平成 23年 3月 31日
算出根拠	A：紹介患者の数	23,691 人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,774 人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	5,213 人	
	D：初診の患者の数	62,308 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>ア. 医療安全管理に関する基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none">①質の高い医療には、安全管理体制のより一層の充実を目指す必要が重要である。②前項の体制の確保は、すべての医療従事者の責務であり、全ての教職員が医療の質の向上と安全の推進に取り組まなければならない。③病院は、個人の努力に依拠する安全管理には限界があることを認識し、組織を挙げた安全システム構築に努める必要がある。④人間は誤りをおかすという前提に基づき組織的な対策をたてる⑤事例に学ぶ姿勢を堅持する⑥職員間のコミュニケーションの障壁を排除する⑦医療を取り巻く環境の変化を常に捉え、高い技量レベルを確保する⑧インフォームド・コンセントの意味を理解しその充実を図る <p>イ. 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本方針</p> <ul style="list-style-type: none">①安全管理指針で規定する医療に係る安全管理のための委員会設置②安全管理室、患者様相談窓口に関する事項③安全管理室長・統括安全管理者・医療安全管理者設置および役割に関する事項 <p>ウ. 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針</p> <p>エ. 院内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善策に関する基本事項</p> <p>オ. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</p> <p>(①報告、②患者・家族(遺族も含む)への対応、③記録、④関係機関への連絡、⑤事故調査、⑥公表)</p> <p>カ. 医療従事者と患者の情報の共有に関する基本方針</p> <p>キ. 患者相談への対応に関する基本方針</p> <p>ク. その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療事故発生防止のための総合的な対策と施設及び設備の改善計画の立案</p> <p>(2) 医療事故等発生状況の把握及び調査検討・病院報告制度の整備</p> <p>(3) 発生した重大な医療事故への対応と、改善策の職員への周知徹底</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 96 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1) 医療法に定められた従業員必須研修の実施安全に係わる研修は6月と11月に開催している。当院には全職員を収容講堂などの会場がない(320人程度が限界)ため、同内容の研修を月～金曜日の連日行っている。これまで、当日参加できない者に対しては、①後日ビデオ上映をする②CDを貸し出すなどの方法を行っていた。しかし、直接生講演を聴くことが最良と考え、本年度から聴講しやすい環境の工夫として、“5日間連日同内容”の講演を開催する方法とした。それでも参加ができなかった者には、これまで同様にビデオ上映によりフォローをしている(1講演につき、時間と曜日を変えながら実施、本講演10回、ビデオ上映会42回実施)。研修参加状況把握では、職員番号をカードリーダーに通す方法で管理し、個人別、所属別の参加・不参加を把握している。その上で、不参加者には診療科長・所属長(責任者)に不参加者リストを配信し、ビデオ上映会に参加を促すなどの対策を講じている。</p> <p>2) メモリアルデー(医療安全を誓う日)の開催 当院独自の職員聴講義務研修会である。 当院の重大医療事故発生を契機に、平成17年より「医療安全を誓う日」として、毎年8月第1土曜日に実施している。患者、市民、従業員を対象として実施している(本講演1回、ビデオ上映13回)。</p> <p>3) 中心静脈(CV)ライン挿入に関する研修(知識・技術研修などを含め29回) 当院でCVラインを挿入するためには、院内規定に沿った審査を受け認定される必要がある。5年目以上の医師は条件を満たすと「認定医」となり、研修医は「施行医」として認定される。CVラインを安全に挿入するための教育はCVライン管理部会が担っており、知識、技術の研修を定期的に行っている。手技の習得は、卒後臨床研修センターと協力して実施している。</p>	

4) 中途採用・帰任者必須研修の実施

これまで、中途採用・帰任者への安全研修は、配属先の所属にほぼ一任した状態であった。これを改め、毎月1回定期開催している。安全・感染・個人情報などの安全に関する情報共有と周知を行っている。個人および所属長（責任者）に受講案内を通知し、当日は、カードリーダーで出欠席を管理し、研修受講後には「理解度自己チェック」により、研修の周知状況などの把握に努めている。

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)

・その他の改善のための方策の主な内容：

(1) インシデント・アクシデントレポート報告方法の変更 → イン트라ネットでの報告

(2) 医療事故報告範囲基準の変更

(3) 日本医療機能評価機構への報告

(4) 医療事故防止および医療の質確保に関する活動

・全死亡例患者の報告制度とその検証委員会（クオリティマネジメント小委員会）の設置

(5) 医療安全推進委員会（多職種混成チーム）による定期的院内巡視と評価

(6) 情報の一元化（職員が知っておくべき共有ファイルの指定と管理）

(7) 多職種による合同カンファレンスの推進

(8) インフォームド・コンセント時の複数立ち会いの推奨（看護師の立ち会いの推奨）

(9) 医療安全情報の配信（急告等）

(10) 「安全管理ポケットマニュアル」の改定作業中

(11) 抗がん剤、高カロリー輸液などの中央調剤システムの構築

(12) 院内「内部通報制度」の構築等

(13) 病院倫理委員会の設置によるコンプライアンス（法令遵守）に関わる活動

1) 学校法人設置のコンプライアンス推進委員会へ出席し情報を共有

2) 病院倫理委員会へ出席し情報を共有

3) 終末期医療のあり方に関するガイドライン作成

4) 非輸血患者の対応に関するガイドライン作成

5) 包括同意に関する文章作成

(14) 三施設間安全相互ラウンドの実施

東京医大病院には三施設の病院がある。今年度から、同系列病院として安全管理の質向上と相互理解、情報共有などを図る目的で、三キャンパス医療安全相互ラウンドを開始した。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 (有) (4名) ・無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 (有) (7名) ・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 (有) ・無

- ・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (4) 名
- ・ 活動の主な内容：

(1) 安全管理委員会開催のための資料準備および議事録作成と管理

(2) 医療安全推進に関わる各委員会の開催と資料作成、議事録などの管理

1) 医療安全推進委員会の開催

2) クオリティマネジメント小委員会の開催

3) CVライン管理部会の開催

4) AED委員会開催 他

(3) 各部門の医療安全管理者(リスクマネジャ)の研修に関する運営と評価

(4) 各部門における医療安全推進の状況把握と評価

(5) 安全に関する他委員会との連携強化

1) 感染症対策委員会との連携と情報共有

2) 医薬品安全管理責任者との連携と情報共有

3) 医療機器安全管理責任者との連携と情報共有

4) 個人情報保護委員会との連携と情報共有

5) 総合相談・シエンセンターとの連携と情報共有

6) がん化学療法レジメン審査委員会との連携と情報共有

7) 中央手術部運営委員会との連携と情報共有

(6) 医療事故など発生時の対応と指導、職員への周知

1) 医療事故発生時の原因究明に関する調査および対策に関する活動

2) 分析対策委員会および事故調査委員会開催に関する資料準備、議事録作成と管理等

<p>3) 管轄官庁届出に関する作業および記録類の管理</p> <p>4) 職員への指導および援助、再発防止に関する対策構築</p> <p>5) 患者、家族への対応</p> <p>(7) 医療安全に係る取り組みの評価を行うためのカンファレンスの実施 病因死因検討会を開催</p> <p>(8) 医療安全に係る職員への教育研修会の企画と運営と評価</p> <p>(9) 患者、家族への相談に関する医療安全管理者の活動実施記録などの管理</p> <p>(10) その他医療安全対策の推進に関すること</p>	
<p>⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p>①・無</p>

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策の基本的な考え方を示して、感染症発生防止に留意し、発生時には速やかな制圧を全職員で図る。2. 病院長直属の中心的な組織、感染制御部を設ける。3. 対策の病院全体への周知・実施を行っていくため、感染症対策委員会と感染対策小委員会の設置、感染リンクドクター・リンクナースを配備する。4. 病院職員に対しては基本的な考え方や具体的な方策に関する研修会を開催する。5. 感染症に関する注意情報を随時発するとともに、院内における耐性菌の検出状況を委員会・診療合同会議にて報告する。6. 感染症発生時には職員は、すみやかに感染制御部へ報告し、感染制御部は原因究明・改善策を委員会にあげる。委員会から全職員に改善策を周知徹底させる。7. 指針は患者その家族が閲覧できる。患者・家族にも感染防止の意義や手技を説明し、協力を求める。8. 職員はマニュアルを遵守するとともに、自らの健康管理に留意する。	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 微生物検査室からの耐性菌分離レポートの集計結果による発生動向の把握と分析2. 感染制御部病棟ラウンド状況の報告（対象：血液・髄液培養分離例、広域抗菌薬長期間投与例、耐性菌分離例、アウトブレイク事例等）3. 感染制御部立案の具体的対策案について、各種職種代表者による審議4. 対策案・注意喚起情報の職員への周知（診療合同会議・科長会議・師長会議・総医局会・中央診療部門の各部署での会議や院長通達、サイボウズや書面等による委員会からの情報発信など）5. マニュアル・ガイドラインなど院内全般に渡る規約の最終決議	

③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況

年 38 回

・研修の主な内容：

- (1) 新採用者オリエンテーション：院内感染対策組織・マニュアル、標準予防策、感染経路別予防策針刺し・切創防止対策、医療廃棄物、洗浄・消毒・滅菌の基本、手指衛生・个人防护具着脱演習
- (2) 医療安全講演：感染予防策の基本、クレーム対応、危険薬物の取扱い、個人情報保護について
- (3) 感染リンクドクター勉強会：クロストリジウム腸炎の診断・治療・感染対策、血液培養の採取方法と実際の状況、TDMを活用した抗菌薬療法、微生物検査の流れ、アウトブレイクしやすい感染症、院内ラウンド結果報告
- (4) 感染リンクナース研修：標準予防策、感染経路別予防策、手指消毒、PPE着脱、耐性菌検出時の感染拡大防止対策、季節性流行疾患の予防と対策、感染リンクナースの役割、年間目標・活動計画、速乾性擦式アルコール製剤使用量報告、独立空調ユニット・陰圧個室病室の説明および見学グループディスカッション
- (5) 臨床研修医のためのレクチャー：感染症診療のフレームワーク、血液培養、微生物・抗菌薬培養検査とその解釈、感染症治療の評価
- (6) 委託業者への勉強会：病院清掃における感染対策
- (7) 中途採用・帰任者医療安全研修会：医療安全、感染対策、個人情報
- (8) その他：造影剤静脈注射専任看護師研修（標準予防策、感染経路別予防策、血液体液被爆防止対策、血流感染予防策）、外来ブロック勉強会（耐性菌対策、季節性疾患対策）、感染シュミレーション研修

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・病院における発生状況の報告等の整備（有・無）感染症リストによる電話・報告書提出
- ・その他の改善のための方策の主な内容：

- (1) 耐性菌発生を減らすための広域抗菌薬一定期間使用者リストアップ・血液培養陽性者/耐性菌検出者リストアップに対する現場のラウンドによる指導
- (2) 院内感染対策ラウンドによる基本手技、医療行為、病院環境のチェックと指導
- (3) マニュアルの見直し・検討・改訂
- (4) 感染リンクナースの年間活動計画に基づくグループ活動の実施
- (5) 感染リンクナースによる自己チェック表を用いた自己評価と改善活動報告
- (6) 部署、診療科別の耐性菌検出者・感染者のサーベイランス情報による注意情報発信
- (7) 健康管理室との協同によるワクチン接種プログラムの計画立案・実施・評価
- (8) 地域医療機関による感染症研究会開催による医療関連感染対策のための勉強会

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・研修の主な内容： (1) 新規採用者研修（麻薬の管理、劇・毒薬の管理、向精神薬の管理、覚せい剤原料の管理、血漿分画製剤の管理） (2) 医薬品に関する研修（全職員対象：麻薬の取り扱いについて）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 (①・無) ・業務の主な内容： 手順書及びチェックシートを作成した。チェックシートによる業務の確認は病院全体及び薬剤部については年 2 回、病棟については月 1 回行い、期限切迫医薬品の回収も併せて行っている。採用医薬品については医療安全の観点からも検討している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 (①・無) ・その他の改善のための方策の主な内容： (1) 医薬情報室には専任薬剤師を 3 名配置している。 (2) 医薬品の安全使用に関する情報は厚生労働省ホームページ、インターネット、新聞、雑誌、製薬企業等から入手し必要に応じて加工し、イントラネット（薬剤部ニュース）、薬事ニュース、各種会議で解説・周知している。 (3) 外観変更医薬品の画像を薬事ニュースに掲載、隔壁未開通事例の多い輸液の採用中止、プレフィルドシリンジの積極的採用を行っている。 (4) 抗がん剤のオーダーは休日を含め薬剤部で全数チェックしている（レジメン、投与間隔等） (5) 入院患者の抗がん剤の点滴調製を薬剤部で実施している。 (6) 手術室、ICU・CCUにも薬剤師を配置し医薬品の適正な使用、在庫管理をしている。 (7) 処方せん疑義照会を集計・分析して、診療科に必要な情報を提供している。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 87 回 (含む放射線機器年6回)
<p>・研修の主な内容：</p> <p>人工呼吸器をはじめ、厚生労働省の指導事項である特定管理医療機器の7機種(粒子線照射装置は保有しない)等及び新規採用時の機器に対しての説明会や研修会を、関係する医療従事者に対して、有効性・安全性・使用方法・保守点検に関する事項、その他不具合が発生した場合の対応、使用に際し法令上、遵守すべき事項などについて実施している。(人工呼吸器、人工心肺と補助循環、除細動器、血液浄化装置、閉鎖式保育器、高エネルギー放射線装置、放射線照射装置、輸液ポンプ、シリンジポンプなど)</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の策定 (有・無)</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <p>人工呼吸器、人工心肺と補助循環、除細動器、血液浄化装置、閉鎖式保育器、高エネルギー放射線装置、放射線照射装置、輸液ポンプ、シリンジポンプなどに対して、年度計画にもとづきメーカーによる年1~2回の定期保守点検のほか、使用前・使用中・使用后点検等を、臨床工学部内及び現場の医師・看護師・技士(師)により実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>メーカーや日本医療機能評価機構から出される情報の収集は、関連部署はもとより安全管理室・臨床工学部・事務部資材課にて行われており、必要に応じて、安全管理室より緊急情報として院内に発信される。</p> <p>機器の安全使用を目的とした改善の実施については、一般病棟配置の除細動器について、3年計画で機種統一を図ってきたが、今年度にて完了となる。また、機種統一されたシリンジポンプのリース期間が年度末に満了となるため新機種への更新を検討したが、機種が変われば、一時的でも現場の混乱は避けられないため、安全を優先し現有機(同機種)への更新計画とした。</p>	